

ウン・セン・タン

ウン・セン・タン教授は、シンガポール国立教育研究所（NIE）の所長を務め、現在、NIE インターナショナル（NIEI）及びシンガポール中国語センター（SCCL）の理事でもある。NIE では教師教育部長でもあり、国内的にも国際的にも画期的な教師教育の開発と革新とされている、21 世紀の教師教育イニシアティブ（TE21）を推進している。さらに、ハーバード大学教育学大学院が主導するグローバル教育イノベーションイニシアティブ（GENII）におけるシンガポールチームの代表を務めている。タン教授は、シンガポール教育学会の会長（2005－2008）、アジア太平洋教育学会の会長（2008－2010）も歴任した。また、国際認知教育心理学会の副会長（アジア環太平洋地域）も務めた（2008－2011）。シュプリンガー社が発行するジャーナル「Educational Research for Policy & Practice (ERPP)」の編集長であり、世界教育学会（WERA）教師教育国際研究ネットワークの主催者でもある。さらに、SEAMEO では高等教育開発地域センターの運営委員会の理事でもある。

タン教授の研究分野は、主に認知心理学、問題基盤型学習、教師教育等である。タン教授は、知識基盤経済のためのイノベーションに関するプロジェクトの共同開発で、シンガポール首相官邸よりエンタープライズチャレンジ（TEC）イノベーター賞を受賞した。ワシントン DC で行われた全米科学財団（NSF）教育・人材部（EHR）主催の特別講演、アメリカ教育学会年次大会における全体セッション及び国際教育サミットなど、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、日本、韓国、中国、香港、アラブ諸国、東南アジアの、これらの分野をテーマとする主要な国際会議において、基調講演を行ってきた。